

事務事業 No./名 称	☐ サービス部門 ☒ 支 援 部 門					監査-01 監査事務			ザイムスコード及び個別事業名		
									211	監査事務	
主管課	監査委員事務局		関連課		各部各課						
分野名	市民自治										
目標 (目標値)	市民福祉の増進に向け、最小の経費で最大の効果を挙げるとともに行政組織及びその運営の合理化を図ることを留意事項として、監査、審査、検査等の高度化を推進する。										
人口等の データ	データ区分	21年度		20年度		備 考					
	人 口	176,669人		176,484人		・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	78,131世帯		77,430世帯							
運営資源 状 況	決算値	3,712千円		3,742千円							
	(国・県)										
	(負担金等)										
	(一般財源)	3,712千円		3,742千円							
	人員配置数	5.0人		5.0人							
	人 件 費	43,267千円		43,997千円							
	協 働 の パートナー										
事務事業 運営経費	総事業費	46,979千円		47,739千円							
	市民1人当 りの経費	266円		271円							
	対象者1人 当りの経費										
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名	平塚市	鎌倉市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市					
	人口(人)	257,427人	176,669人	402,294人	196,916人	234,364人					
	監査委員定数	4人	2人	4人	3人	3人					
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき健全化判断比率等に係る審査事務を行うこととされているが、短期間で審査を行わなければならなかったこと及び同時期に決算審査を実施していることなどの問題から、審査業務における時間的制約及び量的負荷が大きい。									
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 健全化判断比率等に係る審査事務においては、関係資料の十分な理解が求められるところであり、資料に関する理解を深めるため、財政課及び関係所管課と連携を図りながら、関係資料の審査を行った。									
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 健全化判断比率等に係る審査については、県の財政所管課による、各自治体の作成した財政状況に係る関係資料の検収後に初めて監査委員の審査対象となる数値が確定するものであるが、県の関係資料の検収終了日から本件審査の終了までの期間が限られていたため、審査期間の制約を受けた。									
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 適正な審査を行うための審査期間をできる限り確保するため、審査に係るスケジュールについて財政課と更に連携を密にして審査に必要な期間を確保することや、事前に確認チェックできる資料等の提出を受けて審査するとともに、より厳正な審査に向けた知識の習得・習熟度の向上に努める。									
一次評価(課長評価)						二次評価(部長評価)					
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了											
評価結果	改善の必要性	住民の市財政運営への関心が一層高まる中で、不適切な事務の発見や未然防止に向け、監査委員の果たすべき役割は増大している。今後は、監査、審査、検査の高度化を推進するため、更に専門性の強化を図る必要がある。				評価結果	改善の必要性				
A	有										
課長名		出澤 誠				部名・部長名					